



かもめ組だより 5月号

令和7年5月30日
かもめ組

新年度が始まり、あっという間に一ヶ月が経ちました。少しずつ新しい環境に慣れ、子どもたちの笑顔も増えたように感じられます。また先日はお忙しい中、保護者会へのご出席ありがとうございました。今後ともご家庭と連携を取り、より良い園生活を目指していければと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

～着替えでの一場面～

いつものように園庭で遊んでから部屋に入って着替えを進めていると疲れたようで着替えが進まない場面がありました。

保育者「そろそろ着替えてご飯にしませんか？」 子ども A「疲れたから着替えたくないの！」
保育者「今なら着替えお手伝いできますよ」と話すと、その場にいた A 以外の子どもたちも着替えを手伝ってほしいことを伝えてくれました。

また他の日には
保育者「着替えしませんか？」 子ども B「まだしないの！」 保育者「もうご飯の準備に先生は行きますよ」 子ども B「・・・。」しばらくした後、子ども B「着替えるのは分かっているけど動けないの」と教えてくれました。

最近のかもめ組は自分でやりたい気持ちと甘えたい気持ち、わかっているけれど気持ちの切り替えが難しい姿などの中で葛藤しているように思えます。昨年と比べて保育者が減ったこともあり、子どもたちも戸惑うような場面もあります。しかし、その中でも保育者の言葉掛けや援助で、今なら手伝わってもらえる、今なら見てもらえると安心が自分でやりたい！やってみたい！というように変化しているようにも思います。

保育者たちも場面に応じて一緒にどうしたらいいか考えてみたり、ある時は手伝わってみたりと日々子どもたちと関わる中で何が今子どもの成長にとって必要なのかを考えながら関わっています。過ごしていく中で子どもたちと相談しながらその中で何が必要なのかを考え関わっていければと思います。

お願い

クラス前に記名の無い衣服を入れたカゴを設置しています。おさがりの洋服もお子様の名前に書き直していただくようお願いいたします。シールが剥がれてしまっていたり、名前が消えかかっていたり、見えにくいものもあります。お手数ですが再度ご確認ください。またカゴの中身の保管は二週間を目途とさせていただきます。お忙しい中恐縮ですが定期的に確認をお願いいたします。